

1)絵を指し名前を問う。一般的使われる名称を正答とする。  
2)「書くもの」「書き書きする」などの機能表現や幼児言語(「そ  
う」「たねえ」といった人受け入れて「謝罪だよ」と教える。  
3)「えんぴち」などの構音の未熟も同様に。  
4)再度尋ねて正答させる。

a) 語彙  
b) 物の名前の意識  
c) 構音のフェイクも兼ねること。

Date /  
Note  
評

これはなあに? なまえをおしえてね。

